

尼崎市長あて

尼崎市市民提案制度 実施結果報告書

尼崎市市民提案制度実施要綱に基づき、次のとおり報告します。

1 提案概要

団体名及び 代表者氏名	NPO 法人つなげる 代表理事 中原 美智子
事業名	地域に根差した多胎支援活動
事業所管課	こども福祉課・健康増進課
事業内容	提案者と市との連携を意識しつつ、昨年度に引き続き①公式 LINE の運営(情報提供：孤独孤立の防止・個別相談：受援力および QOL 向上)②オープンチャットの運営③2 ヶ月に1度の交流会④オンラインおしゃべり会の実施を行う。 ① 尼崎ふたご LINE 公式アカウントの運営 登録者数：276 名→ 317 名 (+41 名) (昨年度は+101 名) ② 尼崎ふたご LINE オープンチャットの運営 登録者数：79 名→ 88 名 (+9 名) (昨年度は+32 名) ③ 交流会の実施 5/27 交流会(ちびっこステーションひだまり) 参加者 0 組 7/1 交流会(びすけっと) ※初開催 参加者 0 組 9/9 交流会(まかろん) ※初開催 参加者 0 組 11/27 交流会(武庫西公園) ※連携 参加者 4 組 1/27 交流会(大庄北生涯学習プラザ)※連携 参加者 2 組(当日欠席3組) 3/3 交流会(園田東生涯学習プラザ) 参加者 2 組 ④ オンラインおしゃべり会の実績 4、5月 イベント企画、準備 6/5 参加者 0 組 7/4 参加者 0 組 8/6 参加者 0 組 9/3 参加者 0 組 10/15 実施なし 11/15 参加者 4 名 ※お昼前に実施 ※11 月ライブトークで実施 12/25 参加者 4 名 ※夜に実施 1/16 参加者 1 名 ※夜に実施 2/25 参加者 6 名 ※夜に実施 3/20 予定 ⑤ 他団体との連携 ・9/20(13 時~14 時) 社会福祉協議会の方がファミリーサポートセンターとホームスタートについて説明会開催 ・新たに初めての場所(つどいの広場 2 か所)で開催 ・お出かけイベント ふたごじてんしゃ社 (11/27) ・ふれあいあそび ベビーマッサージ講師によるイベント実施 (1/27)

2 事業評価

(1) 協働側面の評価

実施手順

- ・下表について、相互に自己採点する。評価基準は次のとおりとする
A（よくできた）、B（まあまあできた）、C（あまりできなかった）、D（まったくできなかった）
- ・結果を共有し、差異がみられる項目を中心に、原因や改善策等について意見交換を行う
- ・協議内容は「3 総合評価」に記載する
- ・結果を共有する際は、衝突を恐れず、互いを尊重しながら、率直な意見交換を行うこと。

項目	団体等	所管課
1 事業計画（準備）段階		
(1) 課題や目標について共有し、理解し合うことができたか	C	C
(2) 相手の立場や/組織、ルール等を共有し、理解し合うことができたか	C	C
(3) それぞれの強み弱みを理解し、補い合いながら計画を立てられたか	B	C
2 事業実施段階		
(1) 率直な意見交換を行い、理解し合いながら、対等な立場で実施できたか	C	C
(2) 予定外のことについて、協力して対応することができたか	C	C
(3) 役割分担にとらわれて任せっきりにすることなく、主体的に関われたか	A	B
(4) 実施中に目標や進捗を共有し、改善しながら進めることができたか	C	C
その他（契約締結後にあらかじめ任意で設定する項目、項目数は不問）		
(1)		
(2)		
(3)		

(2) 事業効果の評価

実施手順

- ・事業実施前を目途に、協議・合意の上、一つ以上設定する
- ・事業の効果が客観的に測れるよう、受益者の評価など、アウトカム指標を原則とする

	項目	内容
1	評価指標	ピアサポーターの発掘
	測定方法	何名ピアサポーターの登録につながったか
	結果	昨年度から継続して交流会でピアとして活動して下さったのは3名。自主事業でつながった方が新たに3名。まだお子さんが小さいため、今は手伝いに回れないが、今後声をかけていきたい方(予備軍)は4名発掘。
2	評価指標	交流会の開催場所を増やす
	測定方法	交流会の開催実績
	結果	つながりは持てたものの、開催にあたって多胎家庭の状況を把握せずに進めてしまった。久しぶりの開催地では、2年前につながっていた方から参加希望の連絡があったが、体調不良のため実際には参加できなかった。 ※開催場所の増加については3.2(2)の表参照

3	評価指標	オンラインでの交流
	測定方法	オンラインおしゃべり会の開催実績
	結果	オンラインおしゃべり会の枠を設定し、入室者を待っていたが、参加者はゼロだった。そこで、11月より多胎育児経験者2名が、オープンチャットで話題になっているテーマについて対話し、ラジオのようなライブトーク形式に切り替えて実施。すると参加者が増え、その後のオープンチャットでの会話につながり手応えを感じた。

3 総合評価

協働側面の評価

本市民提案事業の初年度から引き続き、各開催場所の担当者と連携しながら、リアルイベントを開催できた。昨年度と同様に、保健福祉センターで母子健康手帳の交付時に、提案者とつながるカードやチラシを配布し、認知活動を広げることができた。また、昨年度からの所管課の支援もあって、新たに2か所で交流会を実施でき、つどいの広場の職員とも情報交換をする機会を得ることができた。一方で、市とは十分な情報交換ができず、新たな開催場所の調整や多胎家庭への告知の協力を依頼することができなかった。また、市と課題や目標を共有して理解を深めることができないまま事業を始めてしまったので、協議の機会を確保できていれば、もっとスムーズに進められたと感じる。さらに、参加者が思うように集まらなかったときに、地区の保健師にもっと積極的に協力を依頼できていたら、改善できたかもしれない。今後は、所管課や地区の保健師とも情報共有を強化して、課題や目標をしっかりと共有することで、もっと円滑に事業を進められるようにしていきたい。

事業効果の評価

▼達成できたこと

継続して3名ピアサポーターとして活動し、今後声をかけていきたい予備軍も含め7名発掘できた。また、交流会が未実施だった地域の会場でも開催することができた。市民提案制度での事業実施前からつながっていたご縁を大切に、関係を維持することができた。そして、オンラインおしゃべり会においても、オープンチャットを活用したライブトーク形式に切り替えることで、参加者が増え、その後の会話につながるなど手応えを感じた。市民提案制度での事業実施前からつながっていた方から参加希望の連絡があった。

▼事業効果が不透明だったこと

新たに実施した2か所では、どちらも参加者がゼロだった。主な要因として、①駐車場がないためアクセスが不便だったこと、②開催当日が雨天だったことから、近隣の方でないと参加が難しかったこと、③その地域にニーズがあるかといった把握が不十分なまま実施してしまったことが挙げられる。

▼対策

今後は、ニーズがある地域での開催を優先し、地区の保健師との情報交換を強化する。引き続き、提案者とつながるカードやチラシの配布をし、認知活動を強化することでリアル、オンラインともに参加者の増加を図る。

【これまでの「交流会」開催実績】

地区	子育てひろば	開催日
武庫	どろっぷす こんぺいとう 武庫西生涯学習プラザ	開催なし 開催なし 2022.2023
立花	すこやかプラザ	※こどものみらい尼崎さんが 実施中
園田	わらべ きらきら ちびっこステーションひだまり 園田東生涯学習プラザ	開催なし 2023.11 2022/2023.7.9.1/2024.5 2023/2024
小田	あみんぐステーション	※あみんぐステーションさん が実施中
中央	まかろん	2024.9.9
大庄	びすけっと 大庄北生涯学習プラザ	2024.7.14 2022/2024

総評

市と協働したことで、新たな拠点で交流会を開催することが実現し、地域の職員に多胎家庭の実情を伝える貴重な機会となった。こうした取り組みを重ねることで、地域の支援者が多胎家庭の課題をより深く理解し、日常的なサポートの充実につながることを期待される。

また 2023 年度に開催した場所で開催すると 1 年ぶりに参加してくださった方や、2022 年度に同じ場所で開催した際の参加者が再び関心を持ち、問い合わせをしてくれたことから、交流会が単発の取り組みではなく、継続的なつながりを生む場になっていることがうかがえる。『この場所だから参加できた』『お散歩で通る場所なので参加できた』など、いろいろな地域で行うからこそその声をたくさんいただけた。そういったことから、尼崎市内の各拠点で交流会を開催できたことは大きな成果だった。さらに、1 月 3 月に関しては、地区担当の保健師が対象の多胎家庭に案内を行ったことで、行政と支援団体の連携が深まりつつある。今回、当日の参加には至らなかった家庭も、行政を通じて支援の情報を得ることで、新たな選択肢を持つきっかけになったと考えられる。

今後とも、こうした提案者と市との連携をさらに強化し、多胎家庭が地域の支援を受けやすい仕組みを構築していきたい。多胎家庭がつながり続けることは、単なるサークル活動ではない。多胎育児は日々の負担が大きく、困難な状況に陥りやすい家庭だからこそ、身近な存在として継続的に関わり、支え合うことが必要である。多胎親が「支援を受ける力（受援力）」を失わないよう、安心して頼れるコミュニティを育んでいくことは、引き続き大きな課題である。

市では、母子手帳を発行したすべての多胎妊婦に「NPO 法人つなげる」が作成したチラシを配布するほか、出産後の多胎児家庭に対して地区担当保健師がチラシを配布する等、周知に努めた。

また、保健所で行っている「ふたごのための育児教室」にて、NPO 法人つなげるのスタッフから直接参加者に活動内容の周知をしてもらった。周知は十分図れていると考えており、多胎児家庭のニーズ把握をした上で、実施回数や開催場所を検討した方がよいと考える。

(実施結果報告に対する審査会委員意見)

- ・提案者と所管課間の連携を密にすること
- ・交流会実施前の両者間の打ち合わせについて一考が必要と感じた
- ・事業の認知が課題と感じたので、オンラインイベントの一部をPR用に発信するなど、工夫をしてほしい

3 収支結果（協働事業のみ）

収入の部				
科目	積算金額（単位：円）			内容及び算出根拠
	予算額	決算額		
補助金	300,000	294,374		
ボランティア受入 評価益	72,000	66,000		
収入合計	372,000	360,374		
支出の部				
科目	積算金額（単位：円）			内容及び算出根拠
	予算額	決算額		
		計	うち市補助金	
謝礼金	219,000	218,080	218,080	公式 LINE 配信 3,000 円×12 ヶ月 オープンチャット運営 3,000 円×12 ヶ月 ピア相談員 3,000 円×6 回×2 名 相談支援 2,000 円×12 ヶ月 相談員マネジメント 2,000 円×12 ヶ月 講師 10,000 円×3 回 振込手数料 160 円×13 回 チラシデザイン費 30,000 円
消耗品費	3,000	1,367	1,367	シール代 924 円、消毒用品 443 円
印刷費	8,000	6,127	6,127	チラシ 300 部(2,344 円) カード 1000 部(3,783 円)
保険料	4,000	2,800	2,800	560 円×5 回
使用料	66,000	66,000	66,000	公式 LINE ライトプラン 5,500 円×12 ヶ月
報償費	72,000	66,000	0	オンラインおしゃべり会運営ピアサポ 1,500 円/時間 ×2 時間 ×2 名 ×1 回/月 ×11 か月 ※1 回開催なしだったため
支出合計	372,000	360,374	294,374	補助額に対する人件費割合：0%（委託事業は記入不要）